

**製品名: Nap1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14405**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	48kDa

**抗原情報**

遺伝子名	AZI2
別名	AZI2; NAP1; 5-azacytidine-induced protein 2; NF-kappa-B-activating kinase-associated protein 1; Nak-associated protein 1; TILP
遺伝子 ID	64343.0
SwissProt ID	Q9H6S1
免疫原	抗血清はヒト AZI2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 10-59

**背景**

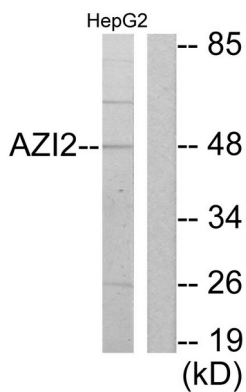
AZI2 (NAP1) は、NAK (TBK1; MIM 604834) などの IKK 関連キナーゼを活性化することにより、NFκB (MIM 164011 参照) 依存

性遺伝子発現の活性化に寄与する (Fujita et al., 2003 [PubMed 14560022])。[OMIM 提供、2008年3月]機能: セリン/スレオニンタンパク質キナーゼ TBK1 を活性化し、そのオリゴマー化を促進する。TBK1 による NF- $\kappa$ B p65 サブユニット RELA のリン酸化を促進する。TBK1 誘導性だけでなく、TNF- $\alpha$  または PMA 誘導性 NF- $\kappa$ B 活性化も促進する。TICAM1 を介して IFN- $\beta$  プロモーター活性化に関与する。サブユニット: IKBKE、TBK1、TICAM1 と相互作用する。組織特異性: 広く発現する。脾臓と精巣で豊富な発現が認められる。

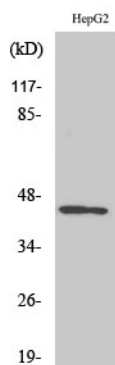
## 研究分野

RIG-I 様受容体;

## 画像データ



AZI2 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



Nap1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析